

# がまこおり 議会 だより

## 6月市議会定例会

一般質問…ここが論点 .....	2～8
議決された主な議案 .....	8～9
委員会通信 .....	9
議会日誌、9月定例会予定等 .....	10

NO. 121  
2023.8



清田の大クス

# 一般質問…ここが論点



詳しい質問項目と動画は、上記コードを読み込むとご覧になれます。

## 6月定例会

6月市議会定例会中、6月16日、19日、20日の3日間で、市政全般について17人の議員が一般質問を行いました。その中から主なものを要約して掲載します。詳しい内容をお知りになりたい方は、6月定例会会議録を市立図書館等でご覧いただくか、市議会ホームページの会議録検索システムをご覧ください。発行・掲載はいずれも9月上旬の予定です。

日程	議員名	主な質問の項目
6月16日(金)	芦 刈 純 奈	<a href="#">選挙</a> <a href="#">ファミリー・サポート・センター</a>
	千 賀 充 能	<a href="#">コミュニティバス</a> <a href="#">観光交流立市蒲郡のWi-Fi環境</a>
	鈴 木 基 夫	<a href="#">人口問題対策</a>
	中 野 香 余	<a href="#">選挙</a> <a href="#">蒲郡駅周辺エリアの整備</a>
	八 田 寿 人	<a href="#">形原温泉あじさい祭り</a>
6月19日(月)	伊 藤 享 佑	<a href="#">地域強靱化に対する具体的な取組</a> <a href="#">地域防災・災害備蓄</a> <a href="#">子育て・教育</a>
	牧 野 泰 広	<a href="#">児童クラブの運営体制</a> <a href="#">療育センターの考え方</a> <a href="#">地球温暖化対策</a>
	大 場 康 議	次期蒲郡市長選 <a href="#">市の道路基盤整備</a>
	日 恵 野 佳 代	<a href="#">6月2日に大雨・洪水警報が出されたこと</a> <a href="#">児童クラブに入れない児童が、小学校1年生を含め8小学校で45人いること</a> <a href="#">図書館機能などを駅周辺に集める計画で市が購入予定の土地</a> <a href="#">自立支援医療の更新案内通知の送付の中止</a>
	藤 田 裕 喜	<a href="#">子ども施策をめぐって</a>
太 田 哲 也	<a href="#">誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策「COCOLOプラン」に基づいた不登校支援の推進</a> <a href="#">ごみ屋敷問題</a>	
6月20日(火)	新 実 祥 悟	<a href="#">働き方改革</a> <a href="#">小中学校海外派遣事業</a> <a href="#">犯罪被害者等支援条例の制定</a>
	鈴 木 将 浩	<a href="#">生成AI</a> <a href="#">災害時の情報発信</a>
	尾 崎 広 道	<a href="#">学校給食</a> <a href="#">選挙事前運動と選挙運動</a> <a href="#">騒音</a>
	鈴 木 貴 晶	<a href="#">図書館</a> <a href="#">ナビテラス</a>
	竹 内 滋 泰	<a href="#">鈴木市政1期目の成果と課題、今後</a>
	松 本 昌 成	<a href="#">自転車の交通安全対策</a> <a href="#">誰もが投票しやすい環境</a> <a href="#">施設型電位治療器（ヘルストロン）</a> <a href="#">コミュニティバスの運行</a>

※[下線付の項目](#)は質問と答弁の要旨を掲載しています。

また市内の小中学生を対象に選挙出前トクトを実施するほか、市内の県立高校に通う3年生全員と希望者にむけて選挙手帳を配付し、投票を促している。

3年10月から形原公民館及び三谷公民館において期日前投票所を増設し、市役所北棟集会室の混雑緩和と利便性の向上を図っている。

**問** 投票率を向上させるための取組について伺う。

**答** 令和5年4月の市議会議員一般選挙では51・04%であった。4年前の同選挙では53・43%であり、地方選挙での投票率は下がってきている。

**問** 近年の投票率の推移について伺う。

**答** 令和5年4月の市議会議員一般選挙では51・04%であった。4年前の同選挙では53・43%であり、地方選挙での投票率は下がってきている。



芦刈純奈  
自民党市議員

### 選挙について

**問** 現在の活動内容についてはどのようなものか伺う。

**答** 「おねがい会員」により支援の依頼を受けた「まかせて会員」が、保育園や習い事への送迎、児童クラブ終了後の預かりや、出産前後の育児援助などを行っている。

**問** 今後の課題について伺う。

**答** 制度の周知と「まかせて会員」の確保を進めるため、会報誌の配布拡大や、会員同士の交流会・研修会を充実させて利用促進を図っていききたい。







千賀充能  
自民党市議団

コミュニティバスについて

**問** 塩津地区での協議会の発足について伺う。  
**答** 塩津地区の住民で話し合ってもらい、進捗によっては年度内に協議会を立ち上げていくことになる。

**問** 今後、市全体で実施をしていくことについての考えを伺う。

**答** 今年度中に再編検討調査を行う。財政負担額の見込み、交通事業者へのヒアリングや利用者アンケート等の結果を踏まえて再編を検討していく。

観光交流立市蒲郡のWiFi環境について

**問** インバウンド対策について現在の整備状況は。

**答** 蒲郡市を訪れるインバウンド観光客の多くは、団体バスで観光



くるりんバス

施設に立ち寄る形であるため、その施設についてはフリーWiFiの整備がすすんでいる。  
**問** 市全域でのWiFi環境整備について伺う。

**答** WiFi環境整備は、市民や観光客の利便性を高めるツールのほか、災害時に情報を受発信する手段としても注目されている。現在、市役所やナビテラス、市民会館等の公施設に、メール認証を通じて誰でも利用できるWiFi機器の設置を進めている。また市内11の公民館に災害時の対応のためWiFi環境を整備している。



鈴木基夫  
自由クラブ

人口問題対策について

**問** 昨年度新規に実施した不妊治療費の助成に加え、不育症の方への検査や診察、カウンセリング等にかかる費用を助成してはどうか。

**答** 県内では9市町村が不育症治療費の助成でも不育症で悩む方が適切な治療を受け、安心して妊娠、出産につながるよう、助成制度について検討していく。  
**問** ヘルパー利用助成や多胎児支援に取り組む自治体もあるが、本市の状況は。

**答** 本市では、妊婦から就学前までの子を持つ家庭を対象に、最大2時間、週2日を上限に、ヘルパーを派遣し家事全般の支援を行う「このこ子育て支援事業」を実施している。



多胎児への支援では、妊婦健診受診券の5回分の追加と多胎妊産婦サポーター事業、多胎妊産婦の交流の場である「にこここママ」を実施している。引き続き支援していきたい。  
**問** 人口自然減は市にとって大きな課題である。これに対する市の考えはどのようなか。

**答** 若い世代が将来の妊娠や体の変化に備えて自分の健康に向き合う「プレコンセプションケア」の概念が重要と考える。健康教育や相談支援、健康管理に関する情報提供に加えて関係機関との体制構築が必要であり、今後、取組を検討していく。



中野香余  
自民党市議団

選挙について

**問** 各投票所での車の持ち込み、障がいのある方への対応等について、その状況を一言にしたものを広報やSNSに掲載し、市民にあらかじめ周知していくべきではないか。

**答** 安心して投票所に行けるよう、必要な情報が必要な方に事前に行き届くようにすることが大切と考える。広報等の掲載内容を見直し、有権者に分かりやすく伝えられるように改善していきたい。

蒲郡駅周辺エリアの整備について

**問** 全市利用型施設のリーディングプロジェクトにおいて、どのような機能を入れ込むことを想定しているのか。

**答** 市内全域の方が利用者となる図書館機能、ホール機能、生涯学習センター機能の3つを核として、様々な機能が融合した施設を整備することで、市民の居場所、活動拠点となる場を創るものと想定している。  
**問** 市民への周知は。



投票箱



八田寿人  
自民党市議員

### 形原温泉あじさい祭り について

**問** あじさい祭りの歴史と今年の来場者の状況について伺う。

**答** 昭和62年、形原温泉地区への観光客誘致を目的とした景観の整備として、愛知県立安城農林高等学校の協力を得て、三ヶ根山スカイライン沿いに1万5千株、金平町の補蛇ヶ池法面に3万5千株のあじさいの植栽を行ったことが始まりである。今年の来場者は6月2日の大雨による影響が心配されたが、例年よりも開花状況が早く、ほぼ例年並みの9万人の来場を期待している。

**問** 今後の予定と支援拡大の計画を伺う。

**答** 関係者と連携しながら誘客策に取り組みでいく。開園後35年が経過しており、花の植

え替え、園内のバリアフリー化など出来ることから取り組んでいく。

**問** 大雨の被害と対応について伺う。

**答** あじさい園地に大きな被害はなかったが、観光道路一の沢線は土砂と倒木が道を埋めている。6月末以降に工事を開始し、3週間程度で通行可能になる予想である。

**問** 渋滞緩和策としてあじさいくるりんバスの日曜運行を伺う。

**答** 各年度の6月実績からバスを利用した来場者が一定数あると推察される。現在実施している週4日運行のバス利用状況を、注視していきたい。



あじさい祭り



伊藤享佑  
市政クラブ

### 地域強靱化に対する 具体的な取組について

**問** 介護事業所のBCP（業務継続計画）策定義務化について市の考え方を伺う。

**答** 介護保険制度の改正により、介護事業所のBCP策定が令和6年4月1日より義務化される。

本市としては未策定の事業所に対して周知や啓発、説明などを行い、定期的な指導を進めている。

### 地域防災・災害備蓄 について

**問** 要配慮者の避難について現在のどのような体制になっているのか伺う。

**答** 元年12月時点において、14団体23施設と「福祉避難所の指定に関する協定書」を締結している。

実際に災害が発生した際、自施設以外へ移送する可能性も含め、今後の話し合いを進めていく。

**問** 災害時の医療救護所対策本部について伺う。

**答** 4年度に「蒲郡市医療救護所対策本部設置要綱」を策定した。本部では、発災後の医療機関の被害情報を集約して救護所設置地区を判断し、医師等の参集の可否を把握の上、災害対策本部の指示に基づき救護所を設置するほか、設置後の進捗管理や愛知県等との情報共有と、人的・物的要請にかかる連絡調整を行う。



防災グッズの点検をしましょう



牧野泰広  
自由クラブ

### 児童クラブの運営 体制について

**問** 正規職員の配置についての市の見解は。

**答** 児童クラブは、児童館長である保育士と会計年度任用職員である放課後児童支援員や補助員で運営している。低年齢児保育の需要増により、正規保育士の追加配置は難しい。教員資格保有者など新たな人材確保の面も含め効果的な職員配置を検討し、引き続き正規保育士確保にも努めたい。

### 療育センターの 考え方について

**問** 法改正による福祉型・医療型児童発達支援の一元化への対応は。

**答** センターが備えるべき要件や設備、必要な人材などの情報収集をしている。当面は保健センター3階での対応を考えているが、市民病院等の医療機関と離れた位置にあり、連携が課題と考えている。

### 地球温暖化対策 について

**問** 速やかに脱炭素先行地域の計画づくりに着手する必要があると考えるが、市の考えは。

**答** 市民と一体でカーボンニュートラルの実現を目指す組織体制として、今年度、ゼロカーボンシティ推進室を新設した。脱炭素先行地域は、地域が一致団結してカーボンニュートラルの実現を目指す地域と認識し、本市も選定されるよう、計画づくりを考えていく。







大場康議  
自民党市議団

市の道路基盤整備  
について

**問** 臨港道路海陽3号線の整備状況を伺う。

**答** 県が将来4車線化できる用地幅を確保し、暫定的に2車線で整備する。6月中旬に供用開始予定と聞いている。

**問** 都市計画道路大塚金野線の事業化に向けた状況を伺う。

**答** 県は、東海道本線の立体交差箇所において、昨年度JＲ東海と構造検討にかかる協定を締結した。また、都市計画変更の後に事業の事前評価に向けた手続を行うと聞いている。

**問** 国道247号中央バイパス4車線化の進捗と完成時期を伺う。

**答** 県は、水竹町一反田交差点から三谷町伊与戸交差点までの約2・9kmについて、昨年度から設計に着手して

いる。完成時期は現時点では明言できないと聞いている。

**問** 豊岡町の砥神神社南側の丁字路交差点では、中央バイパスの4車線化に伴い、信号機設置の必要があると考

える。設置基準を伺う。  
**答** 警察が信号機設置基準に基づき主従道路の交通量等により判断するが、今回は設置が難しいと聞いている。

**問** 当該交差点の中央分離帯の開口部を閉鎖

することで、交通便利性が悪くなる。三谷町諏訪東交差点へつながる迂回路の整備について伺う。  
**答** 迂回路の対応など検討していきたい。



臨港道路海陽3号線 大塚鎌倉交差点



日恵野佳代  
無会派・日本共産党

6月2日の大雨・  
洪水警報について

**問** 災害対策本部の情報発信が不十分ではないか。

**答** 反省点を振り返り、今後、市民全般に広く伝わるよう工夫を行う。

**問** 学校など子ども関係の施設の帰宅するタイムミングが遅かったのではないか。各小中学校の対応について伺う。

**答** 危機管理課と連携し、児童生徒の安全確保のため、柔軟な対応に心がけていく。

**問** 在宅介護などの方は、一般の避難所では避難できない。福祉避難所の早期の開設・送迎などの対応を伺う。

**答** 福祉避難所の避難訓練など、実務を通して課題を整理している。

**問** 川底の草刈りやしゅんせつなど、河川管理の情報提供を伺う。

**答** 河川管理の情報について、ホームページ掲載を検討する。

児童クラブの現状  
について

**問** 入れない児童が8小学校で45人いる。全員入れるよう、教室や公民館等の利用を含め、対応すべきではないか。

**答** 昨年10月の一斉申込期間に申し込んで待機の児童は、7月から入所の準備を整えた。

自立支援医療の更新  
案内通知について

**問** 受給者が増加している中であるが、案内を中止するのではなく、継続すべきではないか。検討していく。



藤田裕喜  
自民党市議団

子ども施策をめぐって

**問** こども基本法の施行に伴い、市として今後どのような対応をしていくのか伺う。

**答** 国や県の策定する内容に基づき、市はこども計画を策定することが努力義務となっており、国の大綱が未定のため、策定期期であったり、市民がどのようにに参加をしていくのかについては今後の課題である。

また令和7年度から開始される第3期蒲郡市子ども・子育て支援事業計画のために、5年度は情報収集から進めていくことになる。

**問** 子育てに関する部署や機能を集約することについて、市としての考えを伺う。

**答** こども家庭庁の創設に伴い、市の組織体

制の検討を現在行っている。国の動向や制度の整理を踏まえたうえで判断していくことになる。

**問** 子育て関連情報などを一度に確認できるサイトを開設するべきではないか。

**答** 情報を分かりやすく発信するために、LINE機能を利用した情報提供の準備を現在全庁的に進めている。

LINEの登録をしてもらったうえで、必要な項目を選択することで関係ホームページへ移行する、といった仕組みを考えており、情報発信の取組の一つとして現在検討を行っている。





太田哲也  
公明党市議団

### 不登校支援の推進について

**問** 不登校児童生徒の保護者支援の状況は。

**答** 学校では、欠席傾向が見られると保護者に状況を伺い、学校とすることができる体制作りに取り組みと共に、中学校区に配置されているスクールカウンセラーとの面談を勧めている。生きがいセンターでは、相談室「麦」を設置し、適応指導教室「あすなろ学級」で月に一度開催している「不登校を考える親の会」では、悩みや現状の共有、相談する場を設けている。他にも、生命の海科学館内の青少年センターでは「子ども・若者相談窓口」において、子どもや若者だけでなく、不適応を起こしている子を持つ保護者の相談にも対応している。



**問** さらに相談しやすい環境づくりのための今後の取組は。

**答** 不登校の原因は、様々な要素が複雑に絡み合っている。そうした状況を踏まえ、今年度からスクールソーシャルワーカーを1名配置し、学校と保護者、市の関係機関とをつなぐ取組を始めている。現在、各学校の現状把握を行い、不登校を含めた様々な案件に対応している。今後、学校や様々な関係機関との連携の中で事例対応を重ね、相談しやすい環境を整えると共に、必要に応じてスクールソーシャルワーカーの増員も検討していく。



新実祥悟  
市政クラブ

### 働き方改革について

**問** 市として週休3日制に踏み込めるのかどうかを伺う。

**答** 1日の勤務時間が長くなる等の課題がある中、施設の開庁時間との関係や業務の性質上適用が困難な部署もある等、導入の難しさも感じている。しかしながら、職員の多様で柔軟な働き方を進めていくため、国や他の自治体の動向を注視しつつ、導入可能性についても検討していきたい。

**問** 週休3日制の導入により農業に従事することができれば、農業従事者の高齢化や担い手不足の解消につながるのではないかと考える。本市の専業農家と兼業農家の現状について伺う。

**答** 令和2年の個人経



営体数は616戸であり、内訳は、農業所得が主な主業農家が227戸、農外所得が主な準主業農家及び副業的農家が389戸である。

### 犯罪被害者等支援条例の制定について

**問** 県内では、名古屋

市はじめ6市2町が犯罪被害者等支援条例を制定している。本市の制定の考えを伺う。

**答** 他市の内容を調べると、相談の総合窓口として相談先の紹介や情報提供のみを行う自治体や、支援金や見舞金を給付する自治体もある。今後、他市の状況も踏まえ調査研究を進めていきたい。



鈴木将浩  
自民党市議団

### 生成AIについて

**問** チャットGPT等の生成AIの活用を進めるべきでないか。

**答** 業務効率化につながるツールと認識しており、先行事例も把握し、マニュアル等の整理を含めて検討する。

**問** 教育現場で子供に対する指導方法や、宿題等で一定のルール決めが必要ではないか。

**答** 文部科学省のガイドラインや、県・近隣市町の動向を踏まえ利活用を検討したい。

**問** 全国各地で活用が進むなか、実証実験や研修等を進めるべきでないか。

**答** 総務省の通知を踏まえた中で利活用を想定しており、現時点の予定はないが、庁内の利用状況を踏まえ、先行事例を参考に、実施

を検討したい。

### 災害時の情報発信について

**問** 被害状況や復旧の目安に関して、地図や画像を活用して、分かりやすい情報発信をすべきでないか。

**答** 路線名だけでは分かりづらいという声もあり、画像や地図を用いることも含め、効果的な手法を検討したい。

**問** 市民からの情報集約に、LINEなどメッセージアプリを活用してはどうか。

**答** 画像や位置情報を送ってもらい、状況を地図にプロットして可視化できる機能もあり、検討を進めている。







尾崎広道  
自由クラブ

学校給食を残さず食べる事の指導について

**問** 牛乳を飲めない子や他の食材が苦手な子に残さず食べる、食べ切るよう強制していいか。

**答** 学校では無理に食べさせないようにしている。保育園でも同様だが、苦手な食材を一口食べてみるよう促したり、食べられたら褒めたりしている。

広告旗（のぼり旗）について

**問** 広告旗を掲げる時の屋外広告物条例の規制について伺う。

**答** 許可地域において、容易に動かせる看板や広告旗を6日以上継続して表示する際は、市長の許可が必要となる。

広告旗に立候補者名等を書いて掲げる場合について

**問** 選挙時に立候補者や応援者の氏名及び写真などを広告旗に書き歩道で掲げることはできるか。

**答** 一般的には、選挙事務所にこれを表示するための広告旗を掲示したり、演説会場や選挙運動用自動車等に取り付けて掲示することは認められるが、他の場所での掲示は認められていない。

号砲花火について

**問** 神社祭礼時の号砲花火に対する規定について伺う。

**答** 騒音規制法等に基づいて対応しており、市の規定はない。



鈴木貴晶  
自由クラブ

学習室について

**問** 現図書館にある学習室の利用状況は。

**答** 座席数は62席あり、平日は空きがあるが、休日はほぼ満席となる。

**問** 学習室の在り方は、新図書館においても十分に検討する必要がある。市の考えはどうか。

**答** 現図書館では、学習室のみならず全体的に手狭と認識している。今後、新図書館を検討していく上で、しっかりと検討していきたい。

**問** 他に学習室として利用できる場所は。

**答** 公民館において確保に努めている。

**問** 市民会館の会議室や生命の海科学館のメディアホールを学習室として利用できないか。

**答** 有料の貸室施設となっており、恒常的な学習室としての提供は

難しい。他の事業、利用者等に支障のない範囲での開放を検討したい。

ナビテラスについて

**問** ナビテラスにふるさと納税自販機の設置を検討してはどうか。

**答** 県外他市で導入実績があり、返礼品をお土産代わりにできる。市内で利用可能なチケットを返礼品とすれば、寄附後すぐに利用できる。また、その場で返礼品を渡すため、郵送料がかからず、寄附金額を低めに設定することも考えられる。導入費用や維持管理費等、費用対効果を踏まえて検討していきたい。



竹内滋泰  
市政クラブ

鈴木市政1期目の成果と課題、今後について

**問** 市を豊かにするには産業を興し、雇用を創出することに尽きると考える。そのためには産業政策課だけで推進するのではなく、令和2年度以前に事務を所管していた企画政策課の大局的な視点等により、総力を挙げて産業開発に取り組む必要があると考える。市の考えを伺う。

**答** 少子高齢化・人口減少・市民のライフスタイルの多様化等、社会経済状況が急激に変化している中で、地方自治体の業務は複雑多岐にわたり、組織横断的に解決すべき課題が多くあると感じている。その課題を解決していく為にも組織の活性化を図ることは、重要であると考えている。

今後、横の連携を一層強化し事業推進をしていきたいと考えている。

**問** 市長より2期目への出馬表明を伺った。2期目には何を最優先で取り組まなければならないと考えているか。

**答** 喫緊の課題を解決することも最優先であり、将来子どもたちが「このまちに住んでよかった」と言ってもらえるような蒲郡を作ろうと、10年後だけでなく、50年、100年先を見た政策を優先度をもって進捗していくことが、2期目にトライする最大の力となっている。





松本昌成  
公明党市議員

**自転車の交通安全  
対策について**

**問** 道路交通法の改正による広報啓発が促された。市の取組を伺う。

**答** 市内全小学校の自転車教室で周知をしており、高齢者の自転車教室開催も考えていく。

**問** ヘルメット購入補助の拡大について伺う。

**答** 現在対象の児童・生徒と高齢者への周知と着用を促進し、他市の状況を踏まえ考える。

**誰もが投票しやすい  
環境について**

**問** 投票支援カードの導入について伺う。

**答** 選挙管理委員会、コミュニケーションボードの活用と合わせ、導入の検討をする。

**施設型電位治療器  
(ヘルストロン)について**

**問** 機器の更新を伺う。

**答** 設置場所の管理者や利用者の声を参考にし、サービスや提供方法の研究をする。

**コミュニティバスの  
運行について**

**問** 市全域の公共交通ネットワークの再編の調査について伺う。

**答** 業者選定の準備を進め、交通事業者への聞き取りや財政負担額見込み、利用者アンケート調査等を予定している。今後、調査結果より再編案を検討する。

**問** 塩津地区でのバスの運行について伺う。

**答** 塩津地区全体として必要の議論の後、公共交通協議会を立ち上げていくことになる。



# 国民健康保険税条例の 一部改正などを議決



6月市議会定例会は、6月16日から6月28日までの13日間の会期で開き、議案12件を審議しました。主な内容をお知らせします。

**■全会一致で可決・同意した議案** (○内の数字は議案番号)

- ④5 市税条例の一部改正
- ④6 火災予防条例の一部改正
- ④8 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正
- ⑤0 農業委員会委員の任命
- ⑤1 市道の路線廃止
- ⑤2 工事請負契約の締結(消防署西部出張所新築工事)
- ⑤5 令和5年度病院事業会計補正予算(第1号)
- ⑤6 令和5年度一般会計補正予算(第3号)

**■賛否が分かれた議案**

○：賛成 ●：反対

議案番号	議案名	自由民主党蒲郡市議団								蒲郡自由クラブ			蒲郡市政クラブ			公明党蒲郡市議団		無党派			
		大場康議	千賀充能	芦刈純奈	中野香余	藤田裕喜	鈴木将浩	青山義明	大須賀林	八田寿人	牧野泰広	鈴木基夫	鈴木貴晶	尾崎広道	新実祥悟	伊藤享佑	竹内滋泰	太田哲也	松本昌成	来本健作	日恵野佳代
47	印鑑条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
49	国民健康保険税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
53	令和5年度一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
54	令和5年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●

※青山義明議員は議長職により採決には参加していません。



■ 陳 情

- ミャンマーの民主活動家に対する死刑執行の即時中止に向けた日本政府の緊急対応を求める意見書の提出を求める陳情書  
提出者 エイミイミイ  
審査結果 不採択
- 最低賃金の大幅引上げと全国一律化、中小企業支援の拡充と公正取引を求める意見書の提出を求める陳情  
提出者 春の自治体キャラバン実行委員会  
代表 西尾 美沙子  
審査結果 不採択
- 公契約事業従事者の適正賃金と安定雇用を確保する公契約法の制定を求める意見書の提出を求める陳情  
提出者 春の自治体キャラバン実行委員会  
代表 西尾 美沙子  
審査結果 不採択
- 住民の安全・安心を支える行政サービス体制・機能の充実を求める意見書の提出を求める陳情  
提出者 春の自治体キャラバン実行委員会  
代表 西尾 美沙子  
審査結果 不採択
- 地方財政の拡充を求める意見書の提出を求める陳情  
提出者 春の自治体キャラバン実行委員会  
代表 西尾 美沙子  
審査結果 不採択
- 保育所職員の人材定着・確保のため保育士配置基準と公定価格を抜本的に改善し、離職しない保育職場の実現を求める意見書の提出を求める陳情  
提出者 春の自治体キャラバン実行委員会  
代表 西尾 美沙子  
審査結果 不採択
- 介護・障害福祉職場の1人夜勤をなくし、複数配置をあたりまえにすることを求める意見書の提出を求める陳情  
提出者 春の自治体キャラバン実行委員会  
代表 西尾 美沙子  
審査結果 不採択
- 「1年単位の变形労働時間制」導入のための条例制定ではなく、教職員の長時間過密労働解消のための施策を求める意見書の提出を求める陳情  
提出者 春の自治体キャラバン実行委員会  
代表 西尾 美沙子  
審査結果 不採択

■ 6月定例会の日程

- 16日 本会議  
〔会期の決定、諸般の報告、議案説明、質疑、討論、採決、一般質問など〕
- 19日 本会議〔一般質問〕
- 20日 本会議〔一般質問〕
- 21日 総務委員会
- 22日 経済委員会
- 23日 文教委員会  
議会運営委員会理事会  
議会運営委員会
- 28日 本会議  
〔委員長報告、議案説明、質疑、討論、採決など〕



■ 6月定例会で議決された令和5年度補正予算

会計名 (補正号数)	補正の主な内容	補正額	補正後の 予算額
一般会計 (第2号)	データ活用システム構築 委託料 682万円	1億6,900 万円	377億1,187 万円
	自治体ポイント活用推進事業費 7,284万6千円		
	住民税非課税世帯等に対する 臨時特別給付金給付事業費 国庫補助金返還金 4,929万7千円		
	3人乗り自転車貸出事業費 56万1千円		
	電気・ガス・食料品等価格 高騰重点支援事業費 191万円		
	生活保護システム改修委託料 462万円		
	若年がん患者在宅療養支援 事業費補助金 32万4千円		
	市道宮成町坂本前田1号線 舗装補修工事費 2,400万円		
	排水路整備事業費 1,340万円		
	コミュニティ活動事業助成金 160万円		
一般会計 (第3号)	総務施設災害復旧費 4,000万円	4億1,500 万円	381億2,687 万円
	農林水産施設災害復旧費 2億9,620万円		
	商工施設災害復旧費 3,830万円		
	土木施設災害復旧費 3,490万円		
	教育施設災害復旧費 560万円		

3常任委員会  
管内視察を行う

総務、経済、文教の各常任委員会は、いずれも5月中・下旬に開催され、関係部署の所管事務の概要説明を受けるとともに、管内視察を行いました。

総務委員会は5月19日に開かれ、消防本部で説明及び庁舎内を見学しました。

委員会  
通信

経済委員会は5月16日に開かれ、東港地区、下水道浄化センターを視察し、ポルトレース蒲郡で説明及び施設見学を行いました。文教委員会は5月26日に開かれ、学校給食センター、クリーンセンターを視察した後、市民病院での説明及び新棟建設予定地を視察しました。

### 9月定例会予定

9月市議会定例会は、9月7日(木)に開会する予定です。詳しい日程は、9月1日(金)に開かれる予定の議会運営委員会で決まりますので、それ以後に議会事務局へお問い合わせください。

なお、本会議の日程と一般質問の内容は、決まり次第、市議会のホームページに掲載します。

本会議の傍聴を希望される方は、会議の当日、市役所新館7階の議会事務局で手続をしてください。

### 東三河広域連合議会

5月31日に東三河広域連合議会5月臨時会が豊橋市で開かれました。

議長に田原市の古川美栄議員、副議長に蒲郡市の大場康議議員が当選し、監査委員には、豊橋市の星野隆輝議員を選出しました。

また、常任委員会委員の

選任等も行われました。

### 議会だよりは点字版、CD版も発行しています

点字版は、点訳グループ「あい」の皆さん、CD版は、音訳グループ「声」の皆さんのご協力で発行されています。

また、議会だよりは蒲郡駅(観光交流センターナビテラス)、市民病院、市立図書館にも置いてあります。ぜひお手に取ってご覧ください。

### 議会だよりをスマホへ配信します!

下のコードを読み込むか「マチイロ」で検索



### 議会日誌

5月16日から6月28日

#### 5月

- 16日 経済委員会管内視察
- 18日 初当選議員研修会
- 19日 総務委員会管内視察
- 26日 文教委員会管内視察

#### 6月

- 1日 議会運営委員会理事会
- 5日 6月定例会招集告示  
議案説明会
- 8日 議会運営委員会
- 16日~28日 6月定例会
- 28日 議会だより編集委員会  
議会運営委員会理事会



刺身の皿に入っている小さな黄色い菊の花、あれが蒲郡市の特産品だと知っていました?他にも青いシソの葉や赤くて小さなマイクロトマト、ナバナ、クレソン、ナンテンの葉なども同じで「つまもの」と呼ばれています。蒲郡や豊橋、豊川の「つまもの」は日本の先駆的産地として有名で現在も日本国内に多く出荷されています。

私個人としては「食用ホウズキ」が今一番の推しですが、高級すぎてなかなか食べる機会がありません。また、市内超有名ケーキ店で「食用ホウズキ」を使ったタルトやプリンアラモードなる商品が出来たらいいのですが、すぐに売り切れるらしく、私は未だ食べた事ありません。

蒲郡の農業と言えは今では「温室みかん」と皆さん言われると思いますが、「つまもの」やイチゴ、アスパラガス、自然薯なども頑張っています。身近で作っていらっしゃると思いますので、ぜひ関心を持っていただけたらと思います。市役所通り沿いの三谷町に「三河温室園芸組合」があります。夏休みの自由研究などに持って来いではないでしょうか?一度覗いてみてはいかがでしょうか?

### 今月の表紙

### 清田の大クス

蒲郡市清田町にあるクスノキは、国の天然記念物に指定されています。樹齢は千年を超すともいわれられており、全国的に見ても貴重な歴史遺産です。中部地方におけるクスノキの代表的な巨木として、「清田の大クス」の愛称で人々に親しまれています

日差しが強い日には、大木の陰で涼みながら、木々の緑や夏を感じてみてください。